

トマトパークが照らす農業の未来 ~世界最高峰のトマト農家を育てたい~

株式会社誠和は、オランダからの栽培技術導入をきっかけに、社内試験により栽培技術を蓄積しその成果を様々な機器・サービスへと展開させてきました。
そして、次のステップとして誠和が選んだ新たな取組が、「トマトパーク事業」です。

トマトパークの3つの軸

I 試験・研究

トマトに関する日本一の知見と、実証により積み上げる栽培技術の確立

- ①高生産トマト栽培実証試験の実施
- ②統合環境制御技術の試験研究
- ③各種資材の評価試験

II 視察・見学

栽培技術を中心に、日本の施設園芸をリードする情報発信基地

- ①年間を通じての視察受入れ
- ②栽培状況及び試験研究結果の情報開示
- ③農場レポートの定期的発信

III 教育・研修

施設栽培に特化した、経営者育成のためのトマトパークアカデミー

- ①18名の研修生を受入れ
 - ②講義から実習まで、トマトに関する一貫教育
 - ③就農までの相談サポート
- ※年額120万税抜、全寮制、食事付

成果報告会及びアカデミー卒業発表会 (H29.7.27)

平成28年5月にオープンしたトマトパークは、1年間の成果として当初目標の反収50tを達成。また、世界基準の農業生産工程管理GGAPの認証を単独農場としては栃木県で初めて取得しました。収量目標達成には研修生が行った、スピードと正確さを兼ね備えた管理も大いに貢献しています。

日本のトマト(ハウス栽培)の年間平均反収は約15tです。比較するとなんと3倍以上!

平成28年8月にアカデミーに入校された10名のうち、1年制7名は今年7月末に卒業を迎え、発表会では卒業後の計画・目標について各々思いを語り、成功を誓い合いました。2年制の3名はあと1年、更なる知識・技術習得に励みます。

トマトパークでは多収実現の為、ロックウール培地使用の養液栽培システムを採用、年1作多段取りを行っています。

活用資源は、太陽光、水(地下水)、農地だね。

年1作取りで安定した経営に取組みたい

ミニトマトの生産に特化して経営を強化したい

初めての反収50t達成の場は居合わせてうれしかった

研修生募集中!!

問合せ先
株式会社誠和 トマトパーク (小金井 1963)
0285-42-2787 ※見学研修等(有料)は、事前にお問い合わせください



トマトパークアカデミーの研修生の皆様



つながッテルね! 条例15条

(事業者の権利及び責務)

事業者は、地域社会を構成する一員として、社会的責任を認識し、自然環境及び市民生活に配慮した事業活動を推進するとともに、公益的な活動への積極的な参加及び地域社会づくりに寄与するものとする。